

国際ロータリー第2700地区行橋みやこロータリークラブ



「変化につよく、未来をひらく」
2024-2025年度 第2700地区
ガバナー 野崎千尋

『よりそう』
2024-2025年度 行橋みやこRC
会長 村上哲二

本日のプログラム

- ◆開会「点鐘」
- ◆ロータリーソング「我らの生業」
- ◆お客様・ビジターご紹介
- ◆会長の時間
- ◆幹事報告・委員会報告
- ◆米山記念奨学委員会
- ◆ニコニコBOX
- ◆閉会「点鐘」

2月の月信 ホームページ



2月は平和構築と紛争予防月間

【米山記念奨学委員会 委員長 寺崎修司 活動方針】

米山記念奨学事業とは、ロータリアンからの寄付金を財源として日本で学ぶ留学生に奨学金を支給し支援する国際奨学事業です。熱意ある留学生を育て、お互いの国や世界を結ぶ「架け橋」となつてもらいロータリー運動の良き理解者になっていただく事が事業の目的です。

例会予定

- ◆2月26日(水)長期計画委員会
- ◆3月5日(水)会報雑誌委員会
- ◆3月8日(土)青少年育成委員会
(移動例会 中学校野球大会)
- ◆3月19日(水)社会奉仕委員会

出席報告

会員数:53名 メークアップ:0名
欠席者:17名 出席率67.92%

お客様:

2月のお誕生日

有門功太郎R(4日)・竹林博幸R(5日)
松山貞徳R(19日)

【IM歓迎の言葉】



本日はお忙しい中、
インターナショナルミーティングにお集まり
いただき、誠にあり
がとうございます。
皆様のご参加に心よ
り感謝申し上げ、歓
迎いたします。

我々行橋みやこRCは、野崎ガバナーをはじめご来賓の皆様と、第一グループのロータリアンの皆様にIMを楽しんでいただこうと、工藤ガバナー補佐のご指導の下、西村実行委員長を中心に、会員一同心を込めて準備をしてまいりました。準備が進むにつれ、第一グループの皆様のご協力が有って初めてIMが開催できる事を、ひしひしと感じました。皆様、誠にありがとうございます。

本日のIMを、皆様のロータリー活動を活性化し、クラブの未来をひらく、ロータリーライフを豊かにするきっかけとして、お役に立てていただければ、幸いで
す。

それでは皆様、IMを楽しんでください。



- 創立…1984年4月3日
- 例会日…水曜日(12:30~13:30)
- 例会場…みやこホテル Tel 0930-23-1800 行橋市宮市町9-18
- 事務局…〒824-0005 行橋市中央1丁目9-50(行橋商工会議所 別館1階)
TEL0930-25-0655 FAX0930-25-5700 E-mail:info@ym-rotary.club

- 会長…村上哲二
- 副会長…石田之茂
- 幹事…松井明男
- 会報雑誌委員長…村上歩己
- URL: <https://ym-rotary.club>







近隣 R・C への メークアップ のご案内	
月曜日	小倉中央 R.C 「リーガロイヤルホテル 小倉」
火曜日	行橋 R.C 「みやこホテル」
火曜日	小倉南 R.C 「リーガロイヤルホテル 小倉」
水曜日	田川 R.C 「料亭 あおぎり」
水曜日	小倉東 R.C 「ステーションホテル 小倉」
木曜日	豊前 R.C 「ニューいすみ」
木曜日	苅田 R.C 「豊前海水産会館」
金曜日	小倉 R.C 「リーガロイヤルホテル 小倉」
金曜日	豊前西 R.C 「築上町リサイクルプラザ」
土曜日	福岡城東 R.C 「ホテル日航 福岡」

国際奉仕委員会

委員長 黒水 泰徹

みなさんこんにちは。

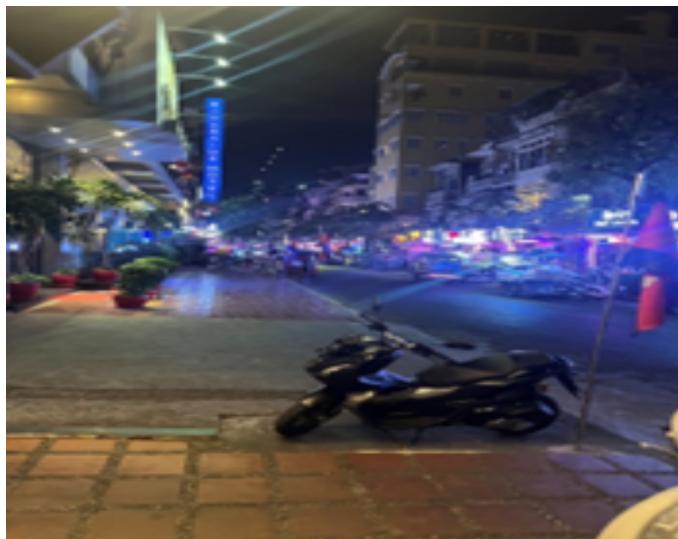
先日、カンボジアに行ってまいりました。

カンボジアと聞いて何を想像されますか？

「貧富の差がはげしい」「ポルポトの内戦で地雷が至る所にある」

「ものごいがいっぱいいる」

行くなら少しひくびく恐れながら行くような
そんなマイナスイメージの方が多いのではないで
しょうか？



私も今回そんなイメージでした。

だけどそのイメージは半分正解で半分間違います。

今回は観光地と呼べる場所にはあまり行っており
ませんので「観光気分」というのを
差し引いてもとても素晴らしい国でした。

街は活気があり世界中の国の方が歩いている。バー
やパブには世界中の人があふれている

町並みは綺麗とは言えないが整備されている。

そんな国でした。

プノンペンの空港に降り立つと一番最初に目につくのは大きなビルや最新の自動車、中国資本による高度成長を感じます。そして季節が良かったせいもあり暑くもなく快適でした。

ホテルへ移動後もホテルから眺めるメコン川は雄大にして近隣住民の憩いの広場に整備されていました。

夜の街はとても賑やかでした。所狭しと並ぶ屋台たちどこも明々と照明をつけ、呼び込み
オリジナリティーあふれる品々が並んでいます。
日本では見ることのできない食品たちに文化の違いを感じます。

カンボジアの暗マイナスイメージはどこへ？そこには笑顔あふれる人たちでぎわっています。とにかくみんな明るい、東南アジア特有の人懐っこさとおおらかさがあります。



がしかし、それは表のカンボジアのイメージでした。

路地を一本はいるとそこにはゴミの山、野犬などがうろついた暗い路地です。

あたりには異臭が漂い鼻が曲がりそうなほどの臭いです。

子供たちは地べたに座り込み暗い中で何か手遊びのやうなものをしています。

目が合うと途端に物乞いに変わり私の後をついてきます。

どうしてよいのか対処に困る・・・日本人ですね・・・不安を感じます。

ホテルを一歩出ると明と暗に分かれている二つの世界を垣間見ました。

話は変わり

今回の支援の話はわたくしのビジネスカスタマーのユン・サビン氏からの紹介でお会いした
Japan alumni of Cambodia (以下JAC) 現会長
ワ・コラ氏です。



JACは日本留学生同窓会で1500人ほどのメンバーで活動しております。

起業家や日本大使館や各省庁などで活躍します。

JACの主な活動は奨学金の受給指導や日本の文化やすばらしさを伝え自制代の若者へのモチベーションアップの活動などをやっています。

今回提示された内容はシュムリアップから出た地方都市の中学生、高校生向けのテキスト及びノート等の筆記用具の配布案でした。

別途資料は添付いたしますが生徒604人に約5ドルの文房具 3020ドル

テキスト2校に1テキスト1000ドル 2000ドル

その他の記念品などに1000ドル

2校のRaksmeay Angkeo junior High Schoolto (ラクスマイアンケオ) とBaray Vihear2 High school (バライビヒア) の二校こちらはJAC様の推薦という形になります。

現在、同じ活動をJAC様が行っているものをこちらが2校サポートする形になっています。

これらは1例にすぎません。

「実際に現地の声を聴いて」と案も出しましたがそうなると要望が多すぎて話がまとまらなくなる。そこで、こちらがしたい支援を、それを必要としている場所に支援しましょうと言ってくださっています。

実際に日本で使わなくなった衣服やランドセルを送って向こうで配布するような支援もやったことがあるそうです。

いずれの形も全面的なバックアップも約束してくださいました。

本人たちもボランチアをやっているのでカンボジア内の移動や訪問は無償でサポートしてくれるようです。

本来であれば学生と面会したり、先生との面会が叶えばよかったですですが、諸般の事情でできませんでした。

しかし、今回のJAC会長ワ・コラ氏との面談で彼は利欲を求めず真心をもって接してくださる姿勢がとても誠実と感じ、信頼のおける方だと認識しました。

是非、行橋みやこロータリークラブとJACと協力し合い活動を行いたいと思いました。

みなさんぜひご協力くださいますようよろしくお願いします。

国際奉仕委員長 黒水 泰徹